

罪、魚化成經、天感齊道、此復奇異事也。

鯿名ナ吉

〔土左日記〕けふ正○承平五年は都のみぞ思ひやらるゝこゝのへのかどのまゝりくめなはのなよし
の頭ひ、らぎらいかにとぞいひあへる、

〔安東郡專當沙汰文〕元徳元年己巳十一月注之

一宮中奉納之時安濃東西郡正權專當等寄合直會祓料肴魚以下之物等買之、大意日記事、○中略

名吉十五隻計方々ノ料代錢三百計

一每年五月五日節供料、御田半之丁部面々方干名吉一隻宛上之間專當使郡令入部、五月一日安

乃津市大略取集之歟、方々支配之次第、

七隻長官進之 二隻七殿進之家子ノ分也 二隻多聞大夫殿進之家子ノ分也 二隻政所大夫方進之、已上十

三隻方々進之、所殘之分專當得分之、但彼魚對捍之時者、代錢二十文宛取之、

一常樂寺御田米無牢籠之時、魚等所進之送文案爲後日注置

進上 名吉十三隻

右任先例進上如件

嘉元二年五月三日

安東郡權專當吉貞上

〔物類稱呼動物〕齋魚ヒ、常州水戸にてふぢかけと云、佐渡にて島まはりといふ、

〔大和本草魚十三〕ヒ

琵琶湖ニアリ、長六七寸、形色似鯿魚、只鱗細キノミ、

〔和漢三才圖會四十九〕血引魚江海有鱗魚、正字未詳

按血引魚形似鯿、而大者二三尺、全體深赤色、肉亦如血味不美、故惡其色食之者少、

血引魚
ヒメチ魚